

神奈川県立高津養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	高津養護学校 第1回たかつコミュニティスクール		
開催日時	令和3年6月30日（水）		
開催場所	校長室		
出席者	伊藤 甲之介（会長）・浅田 幾美 ・竹内 啓二 ・北村 奨 ・伊藤 はるか ・清水 武彦（校長） 校内職員 12名		
次回開催予定日	令和3年8月30日（月）		
問合せ先	高津養護学校 副校長 樋笠 晴美 電話 044-865-4921 Fax番号 044-877-2626		
下欄に掲載するもの	議事概要	議事概要とした理由	
審議（会議）経過	<p>審議（会議）事項</p> <p>1 校長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から本格実施のコミュニティスクールだが、昨年度は書面開催だった。今年は対面で行う。 ・コロナ対策、国からの予算で、網戸の設置、トイレ改修、パーティーをそろえ、情報機器の活用も行った。 ・行事や儀式は人数や内容を変更して実施。 ・今年度の学校運営テーマは 学校の新しい生活様式に合わせた教育内容の充実 ～変化に対応した柔軟な発想と実践～。この1年、学校に来てもらう機会がなかったので、学校に期待していること、もっとできることを聞かせていただきたい。 <p>2 伊藤会長あいさつ</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 学校運営協議会計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あそび・・・外とつながりながら行っている。秋の遊び場など。 ・まなび・・・学校が持つスキルや教材教具を地域に発信し、地域の方も取り込んだ部会にしていきたい。 ・あんぜん・・・防災、地域とははずせない高津も防災に力を入れている。どうやったら地域とできるか検討中。学校運営協議会のメンバーがどこに入れて良いか、外部の人の関係を明確に。⇒次回、明確に示す。 <p>5 学校評価部会 学校教育計画について</p> <p>令和2年度学校評価（実施結果） 令和3年度学校評価（目標設定）</p> <p>（意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働 <p>施設開放の窓口を引き続き行っていく。一般団体から感謝されている。進路指導支援、分教室も本校もグループホームを見学してもらい、イメージを持ってもらう。今年もやりたい。ラッキーだったら入れると思っている。どのような状況なのか、保護者に説明させてもらえたら。3～40代で入るのでは遅い。重度の子も準備していくべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT、teams レクチャーできる人呼んで行くことも可能。 ⇒どう活用できるか、機会があれば。県内の情報担当も連絡取り合っている。そちらにも情報提供していければ。 ・teamsは多様な勤務形態の人も見ることが出来る。情報の持ち出しもできて良い。 ・在宅勤務の教員はいるのか。 <p>⇒開校記念日や夏季休業中など、児童生徒がいない時に在宅勤務ができるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームは地域によって違う。準備しておくとうまい。川崎、横浜は100人待ち。 ・PTAでは、今年は外部の方に、年金の話をしてもらう。見学は、昨年からは行けていない。 ・その人にあった作り、家みたいな作りが検討されている。軽い人の補助が削られていて、重い人にシフトされている。 ・高津養護は設備いろいろあるので、地域の人が利用するには良い。以前パソコン教室をやったこともある。小学校の体育館やグラウンドはなかなか取れない。土日はいっぱい。令和2年から頓挫している。食料出すことができない。お茶をペットボトルにしたりしている。やれる範囲が狭くなってきている。令和3年までは活動は難しいか。自治会も継続できず、検討中。一緒になってやろうが難しい。 ホームページを立ち上げた。昨年5月から細かく発信している。情報をもらえれば出せる。下作延もしっかりやっているのだからこちらも始めた。 ・町内会の回覧の仕分けボランティアでできないか。 ⇒回覧が多くなった。1回の回覧で10種類程あり、役員会の際、支部長が仕訳けて配付している。 ・秋の遊び場やポッチャで関わっている。今は外部とできない。秋の遊び場には、助成金出していた。昨年は出せなかった。内部だけでもやるのであれば、助成金出せる。少しでも役に立てば。 ・わが子どもどこに避難すればいいのかが課題。家の近所ではなく、高津に来れたら。グループホームは自立ができていない子は入れないのかと思っていた。親亡き後を考えていかないと。 ・平瀬川の洪水の際、上作延小には160名避難した。地震は運営会議で対応、台風は市の危機管理で対応。小学校に2名ずつ配置されたが足りず、応援を出した。防災対策、地震と大雨や洪水で偏りがある。 ・コロナ禍ではあるが、学校としては頑張っている。サポートシステムの活用は良いこと。安心安全な学校の取組は、不祥事を防止するには大切なこと。 <p>6 授業視察（オンラインでの授業紹介・本校・分教室）</p> <p>7 学校運営の承認 承認された</p> <p>8 事務連絡</p>		
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会運営計画書・令和2年度学校評価（実施報告）・令和3年度学校評価（目標設定） ・学校要覧・学校だより 		